(中英日对照)卖火柴的小女孩 PDF转换可能丢失图片或格式,建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/252/2021_2022__EF_BC_88_ E4_B8_AD_E8_8B_B1_E6_c105_252010.htm The Little Match-Seller マッチリの少女卖火柴的小女孩 It was terribly cold and nearly dark on the last evening of the old year, and the snow was falling fast. In the cold and the darkness, a poor little girl, with bare head and naked feet, roamed through the streets. It is true she had on a pair of slippers when she left home, but they were not of much use. They were very large, so large, indeed, that they had belonged to her mother, and the poor little creature had lost them in running across the street to avoid two carriages that were rolling along at a terrible rate. One of the slippers she could not find, and a boy seized upon the other and ran away with it, saying that he could use it as a cradle, when he had children of his own. So the little girl went on with her little naked feet, which were quite red and blue with the cold. In an old apron she carried a number of matches, and had a bundle of them in her hands. No one had bought anything of her the whole day, nor had anyone given her even a penny. Shivering with cold and hunger, she crept along. poor little child, she looked the picture of misery. The snowflakes fell on her long, fair hair, which hung in curls on her shoulders, but she regarded them not. それは、ひどく寒い おおみそかの夜のことでした。あたりはもうまっくらで、 こんこんと雪が降っていました。寒い夜の中、みすぼらし い一人の少女がいていました。ボウシもかぶらず、はだし でしたが、どこへ行くというわけでもありません。行くあ

てがないのです。ほんとうは家を出るときに一足の木ぐつ をはいていました。でも、サイズが大きくぶかぶかで、役 に立ちませんでした。はお母さんのものだったので理もあ りません。道路をわたるときに、二台のがとんでもない速 さで走ってきたのです。少女はをよけようとして、木ぐつ をなくしてしまいました。木ぐつの片方はつかりませんで した。もう片方は若者がすばやくひろって、「子供ができ たときに、ゆりかごの代わりになる。」と言って、持ちさ ってしまいました。だから少女はその小さなあんよに何も はかないままでした。あんよは寒さのために赤くはれて、 青じんでいます。少女の古びたエプロンの中にはたくさん のマッチが入っています。手の中にも一箱持っていました 。一日中りいても、ってくれる人も、一枚のすらくれる人 もいませんでした。少女はおなかがへりました。寒さにぶ るぶるふるえながらゆっくりいていました。それはみすぼ らしいと言うよりも、あわれでした。少女の肩でカルして いるい金色のかみの毛に、雪のかけらがぴゅうぴゅうと降 りかかっていました。でも、少女はそんなことに付いてい ませんでした。天冷极了,下着雪,又快黑了。这是一年的 最后一天大年夜。在这又冷又黑的晚上,一个光着头赤着脚 的小女孩在街上走着。她从家里出来的时候还穿着一双拖鞋 , 但是有什么用呢?那是一双很大的拖鞋那么大 , 一向是她 妈妈穿的。她穿过马路的时候,两辆马车飞快地冲过来,吓 得她把鞋都跑掉了。一只怎么也找不着,另一只叫一个男孩 捡起来拿着跑了。他说,将来他有了孩子可以拿它当摇篮。 小女孩只好赤着脚走,一双小脚冻得红一块青一块的。她的

旧围裙里兜着许多火柴,手里还拿着一把。这一整天,谁也 没买过她一根火柴,谁也没给过她一个钱。可怜的小女孩! 她又冷又饿,哆哆嗦嗦地向前走。雪花落在她的金黄的长头 发上,那头发打成卷儿披在肩上,看上去很美丽,不过她没 注意这些。Lights were shining from every window, and there was a savory smell of roast goose, for it was New-years eveyes, she remembered that. In a corner, between two houses, one of which projected beyond the other, she sank down and huddled herself together. She had drawn her little feet under her, but she could not keep off the cold. and she dared not go home, for she had sold no matches, and could not take home even a penny of money. Her father would certainly beat her. besides, it was almost as cold at home as here, for they had only the roof to cover them, through which the wind howled, although the largest holes had been stopped up with straw and rags. Her little hands were almost frozen with the cold. Ah! どの家のまども明かりがあかあかとついていて、おなかが グゥとなりそうなガチョウの丸きのにおいがします。そっ か、今日はおおみそかなんだ、と少女は思いました。一つ の家がとなりの家よりも通りに出ていて、影になっている 所がありました。地べたに少女はぐったりと座りこんで、 身をちぢめて丸くなりました。小さなあんよをぎゅっと引 きよせましたが、寒さをしのぐことはできません。少女に は、家にる勇はありませんでした。なぜなら、マッチが一 箱もれていないので、一枚のさえ家に持ちることができな いのですから。するとお父さんはぜったいホッペをぶつに ちがいありません。ここも家も寒いのにはわりないのです

あそこは屋根があるだけ。その屋根だって、大きな穴が あいていて、すきまをわらとぼろ布でふさいであるだけ。 小さな少女の手は今にもこごえそうでした。そうです!每 个窗子里都透出灯光来,街上飘着一股烤鹅的香味,因为这 是大年夜她可忘不了这个。她在一座房子的墙角里坐下来, 蜷着腿缩成一团。她觉得更冷了。她不敢回家,因为她没卖 掉一根火柴,没挣到一个钱,爸爸一定会打她的。再说,家 里跟街上一样冷。他们头上只有个房顶,虽然最大的裂缝已 经用草和破布堵住了,风还是可以灌进来。她的一双小手几 乎冻僵了。啊!Perhaps a burning match might be some good, if she could draw it from the bundle and strike it against the wall, just to warm her fingers. She drew one out "scratch!" how it sputtered as it burnt! It gave a warm, bright light, like a little candle, as she held her hand over it. It was really a wonderful light. It seemed to the little girl that she was sitting by a large iron stove, with polished brass feet and a brass ornament. How the fire burned! and seemed so beautifully warm that the child stretched out her feet as if to warm them, when, lo! the flame of the match went out, the stove vanished, and she had only the remains of the half-burnt match in her hand. マ ッチの火が役に立つかもしれません。マッチを箱から取り 出して、カベでこすれば手があたたまるかもしれません。 少女は一本マッチを取り出して――「シュッ!」と、こす ると、マッチがメラメラもえだしました! あたたかくて、 明るくて、小さなロウソクみたいに少女の手の中でもえる のです。本当にふしぎな火でした。まるで、大きなのだる まストブの前にいるみたいでした、いえ、本当にいたので

す。目の前にはぴかぴかの金属の足とフタのついた、だる まストブがあるのです。とてもあたたかい火がすぐ近くに あるのです。少女はもっとあたたまろうと、だるまストブ の方へ足をのばしました。と、そのとき! マッチの火は消 えて、だるまストブもパッとなくなってしまい、手の中に 残ったのはマッチのもえかすだけでした。哪怕一根小小的 火柴,对她也是有好处的!她敢从成把的火柴里抽出一根, 在墙上擦燃了,来暖和暖和自己的小手吗?她终于抽出了一 根。哧!火柴燃起来了,冒出火焰来了!她把小手拢在火焰 上。多么温暖多么明亮的火焰啊,简直像一支小小的蜡烛。 这是一道奇异的火光!小女孩觉得自己好像坐在一个大火炉 前面,火炉装着闪亮的铜脚和铜把手,烧得旺旺的,暖烘烘 的,多么舒服啊!哎,这是怎么回事呢?她刚把脚伸出去, 想让脚也暖和一下,火柴灭了,火炉不见了。她坐在那儿, 手里只有一根烧过了的火柴梗。 She rubbed another match on the wall. It burst into a flame, and where its light fell upon the wall it became as transparent as a veil, and she could see into the room. The table was covered with a snowy white table-cloth, on which stood a splendid dinner service, and a steaming roast goose, stuffed with apples and dried plums. And what was still more wonderful, the goose jumped down from the dish and waddled across the floor, with a knife and fork in its breast, to the little girl. Then the match went out, and there remained nothing but the thick, damp, cold wall before her.少女はのマッチを力べでこすりました。すると、 火はいきおいよくもえだしました。光がとてもまぶしくて カベがヴェルのように透き通ったかと思うと、いつのま

にか部屋の中にいました。テブルには雪のように白いテブ ルクロスがかかっていて、上にごうかな食器、ガチョウの 丸きがのっていました。ガチョウの丸きにはリンゴとかん そうモモのつめ物がしてあって、が立っていてとてもおい しそうでした。しかし、ふしぎなことにそのガチョウが胸 にナイフとフォクがささったまま、お皿からびおりて、ゆ かをよちよちき出し、少女の方へ向かってきました。その とき、またマッチが消えてしまいました。よくると少女の 前には、冷たくしめったぶ厚いカベしかありませんでした 她又擦了一根。火柴燃起来了,发出亮光来了。亮光落在 墙上,那儿忽然变得像薄纱那么透明,她可以一直看到屋里 。桌上铺着雪白的台布,摆着精致的盘子和碗,肚子里填满 了苹果和梅子的烤鹅正冒着香气。更妙的是这只鹅从盘子里 跳下来,背上插着刀和叉,摇摇摆摆地在地板上走着,一直 向这个穷苦的小女孩走来。这时候,火柴又灭了,她面前只 有一堵又厚又冷的墙。 She lighted another match, and then she found herself sitting under a beautiful Christmas-tree. It was larger and more beautifully decorated than the one which she had seen through the glass door at the rich merchants. Thousands of tapers were burning upon the green branches, and colored pictures, like those she had seen in the show-windows, looked down upon it all. The little one stretched out her hand towards them, and the match went out. 少女はもう一つマッチをすると、今度はあっとい うまもありませんでした。少女はきれいなクリスマスツリ の下に座っていたのです。ツリはとても大きく、きれいに かざられていました。それは、少女がガラスごしにてきた

、どんなお金持ちの家のツリよりもきれいでごうかでした 。ショウィンドウの中にあるあざやかなみたいに、ツリの まわりの何千本ものいロウソクが、少女のの上できらきら していました。少女が手をのばそうとすると、マッチはふ っと消えてしまいました。她又擦着了一根火柴。这一回, 她坐在美丽的圣诞树下。这棵圣诞树,比她去年圣诞节透过 富商家的玻璃门看到的还要大,还要美。翠绿的树枝上点着 几千支明晃晃的蜡烛,许多幅美丽的彩色画片,跟挂在商店 橱窗里的一个样,在向她眨眼睛。小女孩向画片伸出手去。 这时候,火柴又灭了。 The Christmas lights rose higher and higher, till they looked to her like the stars in the sky. Then she saw a star fall, leaving behind it a bright streak of fire. "Someone is dying, " thought the little girl, for her old grandmother, the only one who had ever loved her, and who was now dead, had told her that when a star falls, a soul was going up to God. たくさんあったクリスマス のロウソクはみんな、ぐんぐん空にのぼっていって、夜空 にちりばめた星たちと分けがつかなくなってしまいました 。そのとき少女は一すじの流れ星をつけました。すぅっと 黄色いをえがいています。「だれかが死ぬんだ……」と、 少女は思いました。なぜなら、おばあさんが流れ星をると いつもこう言ったからです。人が死ぬと、流れ星が落ちて 命が神さまのところへ行く、と言っていました。でも、そ のなつかしいおばあさんはもういません。少女をしてくれ たたった一人の人はもう死んでいないのです。只见圣诞树 上的烛光越升越高,最后成了在天空中闪烁的星星。有一颗 星星落下来了,在天空中划出了一道细长的红光。"有一个

什么人快要死了。"小女孩说。唯一疼她的奶奶活着的时候 告诉过她 一颗星星落下来,就有一个灵魂要到上帝那儿去 了。 She again rubbed a match on the wall, and the light shone round her. in the brightness stood her old grandmother, clear and shining, yet mild and loving in her appearance. "Grandmother," cried the little one, "O take me with you. I know you will go away when the match burns out. you will vanish like the warm stove, the roast goose, and the large, glorious Christmas-tree. " And she made haste to light the whole bundle of matches, for she wished to keep her grandmother there. And the matches glowed with a light that was brighter than the noon-day, and her grandmother had never appeared so large or so beautiful. She took the little girl in her arms, and they both flew upwards in brightness and joy far above the earth, where there was neither cold nor hunger nor pain, for they were with God. 少女はもう一度マッチをすりました。少女のまわりを 光がつつみこんでいきます。前をると、光の中におばあさ んが立っていました。明るくて、本当にそこにいるみたい でした。むかしと同じように、おばあさんはおだやかにや さしく笑っていました。「おばあちゃん!」と、少女は大 声を上げました。「ねぇ、わたしをいっしょにれてってく れるの? でも……マッチがもえつきたら、おばあちゃんも どこかへ行っちゃうんでしょ。あったかいストブや、ガチ ョウの丸き、大きくてきれいなクリスマスツリみたいに、 パッと消えちゃうんでしょ……」少女はマッチの束を全部 だして、残らずマッチに火をつけました。そうしないとお ばあさんが消えてしまうからです。マッチの光は真昼の太

よりも明るくなりました。赤々ともえました。明るくなっ ても、おばあさんはいつもと同じでした。昔みたいに少女 をうでの中に抱きしめました。そして二人はふわっとうか び上がって、空の向こうの、ずっといところにある光の中 の方へ、高く高くのぼっていきました。そこには寒さもは らぺこも痛みもありません。なぜなら、神さまがいるので すから。她在墙上又擦着了一根火柴。这一回,火柴把周围 全照亮了。奶奶出现在亮光里,是那么温和,那么慈爱。 奶奶!"小女孩叫起来,"啊!请把我带走吧!我知道,火 柴一灭,您就会不见的,像那暖和的火炉,喷香的烤鹅,美 丽的圣诞树一个样,就会不见的!"她赶紧擦着了一大把火 柴,要把奶奶留住。一大把火柴发出强烈的光,照得跟白天 一样明亮。奶奶从来没有像现在这样高大,这样美丽。奶奶 把小女孩抱起来,搂在怀里。她们俩在光明和快乐中飞走了 , 越飞越高, 飞到那没有寒冷, 没有饥饿, 也没有痛苦的地 方去了。In the dawn of morning there lay the poor little one, with pale cheeks and smiling mouth, leaning against the wall. she had been frozen to death on the last evening of the year. and the New-years sun rose and shone upon a little corpse! The child still sat, in the stiffness of death, holding the matches in her hand, one bundle of which was burnt. "She tried to warm herself," said some. No one imagined what beautiful things she had seen, nor into what glory she had entered with her grandmother, on New-years day.朝になると みすぼらしい服を着た少女が力べによりかかって、かな くなっていました。ほほは青ざめていましたが、口もとは 笑っていました。おおみそかの日に、少女は寒さのため死

んでしまったのです。今日は一月一日、一年の一番初めの 太が、一体の小さななきがらを照らしていました。少女は 座ったまま、死んでかたくなっていて、その手の中に、マ ッチのもえかすの束がにぎりしめられていました。「この 子は自分をあたためようとしたんだ……」と、人々は言い ました。でも、少女がマッチでふしぎできれいなものをた ことも、おばあさんといっしょに新しい年をお祝いしに行 ったことも、だれも知らないのです。だれも……また、新 しい一年が始まりました。第二天清晨,这个小女孩坐在墙 角里,两腮通红,嘴上带着微笑。她死了,在旧年的大年夜 冻死了。新年的太阳升起来了,照在她小小的尸体上。小女 孩坐在那儿,手里还捏着一把烧过了的火柴梗。"她想给自 己暖和一下……"人们说。谁也不知道她曾经看到过多么美 丽的东西,她曾经多么幸福,跟着她奶奶一起走向新年的幸 福中去。 100Test 下载频道开通, 各类考试题目直接下载。 详 细请访问 www.100test.com